

科研費 学術変革領域「Slow-to-Fast 地震学」B03 班

## Slow-to-Fast 地震のモデリングと予測 2023 年度研究集会 プログラム

○発表時間は質疑・交代込みで、それぞれ 20 分間（目安：発表時間 13～15 分，質疑 4～6 分，交代 1 分）

オンライン開催の部：3 月 21 日（木）14:00-15:45 Zoom

14:00 開会

14:05 野村 俊一（早稲田大）「発生周期変化を考慮した繰り返し地震予測」

14:25 乗杉 玲壽（京都大）“Machine learning predicts earthquakes in the continuum model of a rate-and-state fault and in meter-scale laboratory experiments”

14:45 金子 善宏（京都大）“Strong asymmetry in near-fault ground velocity during an oblique-slip earthquake”

15:05 村松 和紀（東京大）「準動的地震シークエンスシミュレーションによる中央構造線活断層系の傾斜角推定」

15:25 総合討論

15:45 閉会

現地開催の部：3 月 25 日（月）9:55-16:45 文部科学省研究交流センター（つくば市）第二会議室

09:55 開会

10:00 廣瀬 仁（神戸大）「傾斜データに基づく SSE 検出のための機械学習手法の開発」

10:20 福嶋 陸斗（京都大）「物理深層学習を用いた長期的 SSE 発生域の摩擦パラメータ空間分布推定」

10:40 加納 将行（東北大）「データ同化を用いた長期的スロースリップイベントの再現と短期推移予測」

11:00 野田 朱美（気象研）「GNSS データ解析に基づく新潟－神戸歪み集中帯の非弾性変形構造」

11:20 齊藤 竜彦（防災科研）「断層下部の塑性流動による応力・歪みエネルギー蓄積プロセス：2次元横ずれ断層の場合」

11:40 松澤 孝紀（防災科研）「フィリピン海プレートの沈み込みに伴う関東地域のスロースリップイベントと地震サイクルの準動的数値シミュレーション」

12:00（昼食）

13:30 中田 令子（東京大）「階層構造モデルを用いた準動的地震発生サイクルシミュレーション」

13:50 堀 高峰（JAMSTEC）「シンプルな摩擦則で多様なすべりを表す試み」

14:10 綿貫 元起（東京大）「2011 年 Mj7.0 福島県浜通りの地震に関する動的破壊シミュレーション実施を見据えた精緻な断層面モデル構築法の検討」

14:30 安藤 亮輔（東京大）「2023 年トルコ-シリア地震および 2024 年能登半島地震の動的破壊シミュレーション」

14:50 安藤 亮輔（東京大）「プレート境界形状に支配される島弧海溝結合系の応力場と地震発生」

15:10（休憩）

15:30 井出 哲（東京大）「Initial Phase 再考」

15:50 総合討論

16:20 閉会

16:25 班ミーティング

16:45 会場撤収作業（17 時までに会場撤収完了）